

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		平成23年 6月30日
大分県知事 広瀬 勝貞 殿		
提出者 住 所 大分県玖珠郡玖珠町大字山下 2033 番地の 1 氏 名 重見 弘道 電話番号 0973 - 72 - 5303		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	重見牧場	
事業場の所在地	大分県玖珠郡玖珠町大字山下2033番地の1	
計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
① 事業の種類	01 農業	
② 事業の規模	乳用牛142頭	
③ 従業員数	6人	
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿：処理業者に委託して堆肥として再資源化し、 1割は自己で堆肥化 家畜の死体：化製場へ委託処理	

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
場長 (処理業者への委託分)			
廃棄物処理に関する各種事項の決定 委託契約の締結事務 行政等への各種報告			
(農家の処理分)			
農家個人で適正な管理を行い、自己で堆肥化			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	排 出 量	2, 0 6 9 t	2. 0 t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	排 出 量	2, 0 6 9 t	2. 0 t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		
③ 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	200 t	t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	200 t	t
	(今後実施する予定の取組) 堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（平成22年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	全処理委託量	1,869 t	2.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	— t	t
	再生利用業者への処理委託量	1,869 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ●家畜ふん尿は再生利用業者へ全て処理委託し堆肥化している ●動物の死体は化製場に委託し処理している		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜ふん尿	動物の死体
	全処理委託量	1,869 t	2.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	— t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,869 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	— t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ●処理を委託する場合は今後も再生利用業者へ委託する ●動物の死体は化製場に委託し処理している		
※事務処理欄			